

燃えた！！ 1学期クラスマッチ



7月10日（金）、生徒会主催のクラスマッチ（バスケットボール）を実施しました。クラスマッチでしたが、人数のバラつきにより全校生徒を2つのチームに分けて行いました。ボールコントロールが巧みな生徒や、チャンスの場面で輝いたファインプレー等、熱い試合が繰り広げられました。また、最後には生徒チーム対先生チームのエキジビションゲームを行なうなど、生徒たちの積極的な姿がみられました。チームの勝利に貢献しようと真剣なまなざしが見られ、普段の生活では見えない生徒の新たな一面を見ることができました。クラスの仲間だけでなく全校生徒・職員との親睦を深めることができました。

熊本県立人吉高等学校
五木分校ニュース

自然の恵みに感謝！収穫祭

終業式前日の7月16日（木）、「収穫祭」を行いました。これは、1学期のTSプラン（総合的な学習の時間）を活用して育てた作物を、班毎に食材を活かすアイデアを提案し、「低廉な費用で、工夫して美味しいものを作る」ことを目指します。学校の畑で穫れたナス・胡瓜・トマトのほか、九条ねぎや青じそを素材に野菜サラダや麻婆ナス、各種天ぷらが完成し、絶妙な出汁が効いた名物“うどん”とともに全員で美味しく頂きました。



※なお、27日（月）の前日、分校農園は、今年もサルの略奪に遭い、収穫前であった大玉スイカやサツマイモ、とうもろこしは壊滅状態になっていました。



第171号
平成27年8月
編集発行
熊本県立人吉高等学校
五木分校

平成27年度人吉高校五木分校体験入学

8月3日（月）の午前9時から、平成27年度体験入学を開催しました。本年度は、中学生10名、引率者9名の参加がありました。生徒会を中心に、1年生6名と2年生4名で協力して進めることが出来ました。2年生足立さんの司会進行の下、生徒会長の2年土屋君が、分校の簡単な紹介を含めて歓迎のあいさつを行い、分校の特徴や1年間の行事を紹介する映像を見てもらいました。その後、前半はスライドを用いた概要説明やバドミントン部の活動の様子、施設見学を行い、後半は分校の特色でもある学校設定科目「ステップアップ」の授業を体験してもらいました。授業体験では、在校生のサポートを受けながら、国語・数学・英語の基本的な内容に取り組んでももらいました。高校の授業の一端を体験出来たことは、中学生にとって有意義なものになったに違いありません。アンケートの結果をみても中学生に一番好評でした。

また、並行して保護者や引率の先生方との懇談会も実施されました。その中で、在校生の保護者を代表して五木秀麗会会長の岩本さんから、五木分校にやって良かったこと等のお話があり、参考にしていただけたと思います。最後に1年生の森下君と2年生の下原君が、分校に入学しての感想を発表しました。他の高校にはない五木分校の良さを伝えることが出来たのではないかと思います。引率でいらした在校生の中学校時代を知っておられる先生方からは、生き生きと活動している様子や堂々とした発表を見て感銘を受けたという感想も寄せられました。



平成27年度生徒会役員改選

6月18日（木）に生徒会立候補者の立会演説と役員改選選挙を行いました。会長、副会長が1人ずつ立候補し、どちらの立候補者も五木分校をよりよくしたいという思いを熱く演説しました。信任投票により2人は見事に当選を果たし、7月1日（水）には新生徒会執行部の交代式・任命式が行われました。

新生徒会のみなさん、よろしくおねがいします。

生徒会長 兼 生活交通委員長	土屋 恵太（2年）
生徒会副会長	森下 聖太（1年）
体育委員長	足立 好（2年）
文化図書委員長	下原 篤希（2年）
保健美化委員長	椎葉真里奈（2年）
生活交通委員長代理	面 栄里奈（1年）

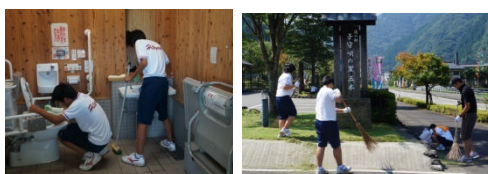
旧生徒会のみなさん、ありがとうございました。

生徒会長	岩本 侃祐（3年）
生徒会副会長	土屋 恵太（2年）
生活交通委員長 兼 体育委員長	瓜生せりな（3年）
体育委員長代理	足立 好（2年）
文化図書委員長 兼 保健美化委員長	椎葉彩友美（3年）
文化図書委員長代理	下原 篤希（2年）

ボランティア活動

夏休みの登校日となった

8月5日（水）の午前中、五木村「道の駅」周辺の清掃ボランティア活動を行いました。お盆の帰省や観光で訪れる人も多く、気持ちよくお迎えをしようと生徒会が毎年企画するものです。学年毎の班割で、トイレ掃除やその周辺の草刈り・除草作業に汗を流しました。夏休み前半の恒例行事となっているこの活動ですが、終了後は、「道の駅」の方から深井戸水のボトルとともに、労いと激励の言葉を頂きました。



性教育講演会

7月6日（月）に福田病院助産師・片平起句先生に「十代の性について」という演題で講話をしていただきました。「異性に『好き』と言われたら、どうする？」「『高校生』という今の自分で考える望ましい付き合い方って何だろう？」という先生の問いに生徒達は真剣に考え、お互いに意見を出し合っていました。また、性感染症のお話もあり、「相手と自分のことを大切にしたい行動ができるようにする」ことを学ぶ機会になったようです。そして最後に、命についての話で、片平先生の「一人ひとりがキラキラ輝いている命。一人ひとりが周りを幸せにする存在である。」という言葉聞いて、生徒達からは「家族に感謝したい」「命を大切にしたい」等の感想がありました。相手を思いやることや命について考えることができた講演会でした。